



体育祭

H29.10.6

世代を超え楽しめる会に

同窓会長 鈴木 京子  
(S五十八年生)

同窓生の皆様にはお変わりなくご活躍のこととお喜び申し上げます。同窓会の活動に対し日頃よりご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

私が、会長の大役をお引き受けして間もなく一年が経とうとしています。まだまだ分からないことも多く、力不足を感じておりますが、今まで先輩方が築いてこられた同窓会の伝統を引き継ぎながらも、若い世代に同窓会活動をどのように広めたいかを模索する日々です。多種多様な考えやライフスタイルの変化なども考慮に入れながら、世代を超え集まり楽しめる同窓会活動を作っていけるよう、皆様のお知恵を拝借しながら、話し合いを深め実行していきたいと思えます。

昨年は前会長の佐藤せつさん、そして十二月には前学園長の九里茂三先生が相次いでお亡くなりになり、心の支えを失った思いです。同窓会はお二人の思いを引き継ぎ、母校と同窓生の懸け橋となって、これからも九里学園を盛り立て応援していきたいと強く思っております。

どうぞ会員の皆様、今後ともよろしくお願いたします。



本田 清子さん(S43年卒)  
紺野 礼子さん(S47年卒)

6/24

モン  
トビ  
ュー  
米沢

## 備えあれば憂いなし

高橋 有子 (S五十二年卒)

今年の同窓会総会において、佐藤せつ会長  
の退任にともない、後任に鈴木京子さんが  
会長に、副会長に西山信子さんと近野太  
郎さんが新任されました。新役員の皆様  
は九里学園創立百二十周年に向けての活躍  
を期待したいものです。

総会が終わってからの研修では、短い間  
でしたが、米沢赤十字奉仕団のメンバーに

よる「万一の時、災害が起こった時の食事  
の作り方」を実践していただきました。家  
庭にある耐熱ポリ袋を使ってごはんを炊い  
たり、肉じゃがを作ったりと、口も手もフ  
ル活用の興味深い内容でした。ライフライ  
ンは常にあるものではなく、いざという時  
身の周りのものを使って生きぬく方法を学  
んだ貴重な研修会でした。

## 学園近況

### 能動的な学びの場として

教頭 井澤 治

前号でご紹介した中央棟の工事も順調に完了し、昨年  
4月から新校舎(中央棟)の使用を開始しました。3階  
には今回の工事の目玉となるアクティブラーニング室を  
2室設置しました。今、全国の教育現場では学習者である  
生徒が自ら主体となって、能動的に学ぶことができる  
ような授業を行う学習方法、すなわち「アクティブラー  
ニング」を取り入れることが盛んに行われています。また、  
大学入試の際にもこのような学習の成果を問うような  
内容が検討・出題されています。本校では以前からこの  
ような学習方法を各教科で研究していましたが、今回  
ハード面の環境(超短焦点型プロジェクターや可動式机  
と椅子、ホワイトボードなど)が整い、特に若い先生方  
が中心となって使用の順番待ちになるほど意欲的な取  
組みがなされています。

昨年末、野球部が春の選抜大会「21世紀杯」の山形代  
表にノミネートされたことが大きな話題となりました。  
冬場の過酷な環境の中でも練習方法を工夫し、東北大会  
に連続出場するなどの実績が評価されました。残念なが  
ら最終的に全国3校の枠に入ることはできませんでしたが、  
41年連続インターハイ出場を果たした陸上競技部と  
もども今後の全国的な活躍がとても楽しみです。

## 総会報告

## 新役員の紹介



会長 鈴木京子 (S五十八年卒)

副会長 西山信子 (S四十五年卒)

新井千香代 (S五十九年卒)

渡部達也 (H十四年卒)

斉藤雄大 (H十四年卒)

近野太郎 (H十九年卒)

幹事 大久保洋子 (S四十二年卒) 町田悦子 (S四十五年卒)

齋藤久美子 (S四十九年卒) 高橋有子 (S五十二年卒)

小関道子 (S五十八年卒) 松浦誠子 (S六十一年卒)

若林あい子 (H十二年卒) 鈴木沙有理 (H二十三年卒)

監事 鎌水美恵子 (S四十三年卒) 鈴木里佳 (S六十年卒)

# お久しぶりです 皆様

## 花の百名山を歩いています

### 酒井 脩一 先生



同窓生の皆さん、お元気ですか。私は二年前に古稀を迎えました。

九里での在職中は、大変お世話になりました。私の卒業した高校、大学では英語の読み方を重視しない学校でした。それに言語能力の低さから訛った発音。不似合いにも教壇に立ち、皆さんのリーディングを聞き驚きました。又、授業への真摯な姿勢や他人に対する心優しさにも、胸打たれたのを覚えています。

HR経営でも、皆さんの方が担任より大人で、常に支えて貰っていました。

生徒会行事で、夏は念珠関での「海の家」、冬は天元台や栗子でのスキー教室等、お粗末な教師でしたが皆さんのお陰で、楽しい思い出を一杯頂き、充実した教員生活を送る事が出来ました。白衣を着ての焼却炉当番

も懐かしい思い出です。皆さんと共に学び合えた喜びを、噛みしめております。

近年、足腰が弱くなり高い山には登れなくなりました。でも山の空気が吸いたく、軽いサブザックを背負い、リフトが運んでくれる「花の百名山」を歩いています。

今年には森吉山、日光戦場ヶ原湿原の風に吹かれて来ました。

庭で雪囲いをしていると、クオオの声。見上げると白鳥が綺麗なV字型を成して、寒空を渡っています。仲間を鳴き声で励まし合いながら、懸命な飛行。「頑張れ！」と、声を掛けたくくなります。

季節は晩秋。冬が直ぐ隣まで来てしまいました。同窓生皆様のお幸せを祈念しつつ。

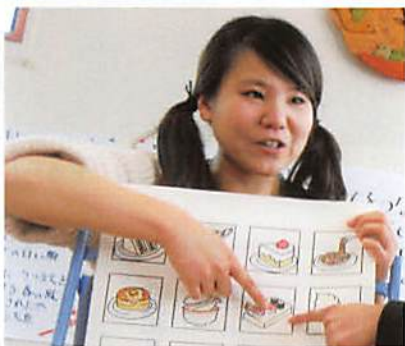
\*\*\*\*\*

## 私の高校時代

## 憧れの保育士に向けての3年間

寺嶋 佳代さん (旧姓 鈴木 H11年卒)

米沢仏教興道会フチハウスにて



高校時代の三年間は、私にとって目標に向かい歩むことができたかけがえのない貴重な時間でした。幼い頃から憧れていた保育士は、高校時代その気持が強くなり、勉強に部活になりたい自分を思い描き、日々過ごしていたことを思い出します。

木造校舎の木の匂い、ピカピカ光る廊下。ある時は、合唱コンクールに向けて休み時間に教室で心一つに練習したことや、放課後は吹奏楽部に所属して友だちと音を奏でたことなど、一つひとつのことが心の中に残っています。

現在、保育士として働いているのも、心身ともにご指導してくださった先生方や、いつも笑い合って過ごした仲間との出会いがあったからです。様々な経験を通して自分を高めることができました。

何事にも真摯に向き合い、失敗を恐れず取り組むことは、将来の夢に向かって大事なことです。そのことを教えてくださった九里学園に感謝しています。未来へと繋がった三年間は、私の大切な宝物の日々です。

高校三年の頃



# 茂三先生を偲ぶ

敬愛する九里茂三先生のご逝去には、多くの同窓生が哀惜の想いを抱かれたのではないのでしょうか。私達は、九里先生が築かれた大きく深い教育精神の中で育まれたことを誇りに思います。

九里先生が学園で過ごされたお姿を拾いました。遠くなった高校時代を引き寄せながら、どうか九里先生を偲んでください。



S36年 校長就任時

同窓会役員と（H十一年）



卒業式にて



S45年9月体育祭

## 茂三先生の略歴

大正十年二月六日

米沢市北袋町に生れる

昭和八年三月

米沢市立北部尋常小学校卒業

昭和十年三月

米沢市立北部尋常高等小学校卒業

卒業

昭和十五年三月

山形県師範学校本科一部卒業

昭和十六年三月

山形県師範学校専攻科卒業

昭和十九年九月

東京高等師範学校（現筑波大学）卒業

卒業

海軍予備学生として土浦海軍航空隊へ入隊

昭和二十年六月

昭和二十年六月

任海軍少尉、予備役編入、即日召集〔海軍省〕（昭和二十年八月）

昭和二十年十一月

昭和二十年十一月

山形県立米沢中学校（現・米沢興譲館高等学校）教諭（昭和三十六年三月三十一日）

昭和三十二年四月

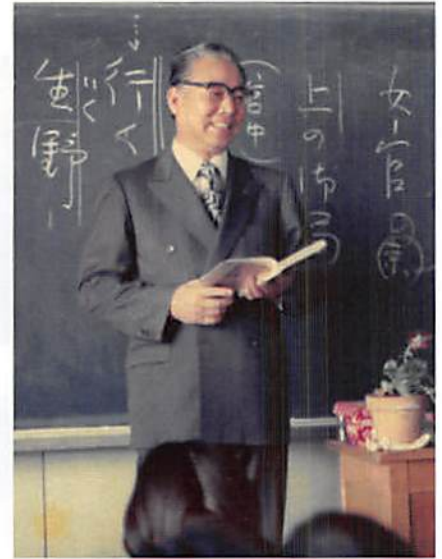
昭和三十二年四月

学校法人 九里学園 理事長

（平成二十一年三月三十一日）

日

# 九里



## 人間の倫を説いてこられた九里先生

旧職員 遠藤 岩根

九里茂三先生は終戦直後から約十五年、混迷した時代において理想の灯をかかげて歩む興讓館で教鞭をとられる。昭和三十三年創立者の九里とみ先生を見送られた後、真の教育は私学にあると確信し、昭和三十六年に本校の校長に就任される。その後、山形は勿論、日本私学の代表の一人として、人間の倫を説いてこられた。

先生が、日本の社会と教育の在り方を憂い、教育の本道を求めての歩みに、勲三等瑞宝章はじめ、九里とみ先生も受賞なされた藍綬褒章など数々の受賞は当然の帰結であった。しかし九里先生にとってびつたりの賞は、教育の淵源を人間そのものうちに見いだそうとしたことで知られる「ベスタロッツチー賞」（日本で毎年一人か一団体が戴く）であったのではなかったか。諸行無常とは申せ、本当に残念な先生とのお別れ。

これまでの御教えに感謝申し上げますとともに、先生の思いに若干でも近づく努力をおしまないことをお誓い申し上げます。

## 「礼と讓」を心の宝として

同窓会長 鈴木京子

先生が私たちに話をされる時には、必ず「皆さんおひとり・おひとり」と言われました。「おひとり・おひとり」の言葉には、生徒を我が子のように分け隔てなく慈しみ、社会に出て困らないように、人としてどうあるべきかなど、私たちの自立を願いながらお話しくださったように思います。先生の懐の深さ、愛情の大きさを感じ取ることができました。私たち同窓生は、先生からご指導いただいた「礼と讓」の教えを一生かけがえのない心の宝物とし、同窓会活動の活発化と母校発展のために活動していくことをお誓いし、お別れの言葉といたします。

弔詞(抜粋)



お別れ会 H30.3.18

昭和三十六年四月

米沢女子高等学校 校長（

昭和六十三年）

昭和四十年四月

自治小集団ブロック制実施

昭和四十八年四月

新教育課程

「コース選択制」実施

昭和四十九年三月

芸術棟竣工

昭和六十二年十月

山形県知事表彰(私学振興功労)

十一月

文部大臣表彰(私学振興功労)

昭和六十三年十一月

藍綬褒章受章

平成二年四月

学校法人九里学園 学園長

平成三年十月

全国私立学校審議会委員功労者表彰

平成四年十一月

米沢市功績章受章

平成十一年四月

勲三等瑞宝章受章

平成十五年

第十二回ベスタロッツチー教育賞受賞

# 部活動紹介

## バドミントン部

顧問 高木ユキエ

### 目指せ 香朱美先輩

現在部員男女合わせて二十五名で活動しています。コーチや社会人の方々にお世話になり、技術面・精神面を向上させています。

社会人の中には卒業生の香朱美先輩がいます。彼女は、初心者からスタートし、高校卒業後もバドミントンに真摯に取り組んでいる姿を近くで見ながら、部員達は切磋琢磨して成長しております。

二十九年度は、地区で男子団体三位、女子団体優勝、県新人大会シングルスベスト8に二人入賞。県あすなろ大会では、女子ダブル

ス優勝、入賞。県一年生大会女子団体三位入賞を果たすことが出来ました。これからも部員一同、努力を重ねて精進していきますので応援よろしくお願います。



### 九里祭参加 8/26

## 同窓生作品展

### エコクラフトの作品をつくる

久しぶりに九里祭のお手伝いに参加しました。飯豊支部の作品、生け花、レース手芸、白い器に模様を貼り焼きあげたポーセラース。アクセサリー、大絵等々の力作の展示でした。

私達四人は朝五時に集まりふきを取り、皮をむいて作ったふき菓子やしそ酢ジュースをお出で頂いた方に食してもらいました。体験はクラフトテープの小物入れ製作でした。楽しいひと時でしたが、お出で頂いた方が少なく残念でした。

(S四十五年卒 西山信子記)



## お悔やみ申し上げます

前会長 佐藤 せつさん

(享年八十六歳)

平成二十九年七月、同窓会長を十二年間務められた佐藤せつさんが逝去されました。

せつさんは、昭和二十三年米沢女子高等学校専攻科を卒業され、小学校の先生をされた後、米沢中央保育園で長年園長をされました。その後半の平成十七年から二十九年三月まで九里学園の同窓会長を同時に務められました。

若い同窓生によく「私の高校時代は、終戦直後の日本の混乱期で授業よりも勤労奉仕の日々だった」と言われ、いかに平和が大事かをにじませた話をされていました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

九里茂三先生の追悼にあたり、学園に対するさまざまな思いを改めて感じながら、高校時代を振り返って下さい。  
新たな歴史を積み重ねていく学園のように、私達もチャレンジしていくと思えます。

(神田 記)



アドレス <http://all-kunori.net/>  
投稿はメール、封書、はがきでお送り下さい。  
(1)メールあて先 dousou@tw.kunori-h.ed.jp  
(2)封書、はがきの宛先は表紙の住所をご覧ください

## 同窓生の集いに 6/30(土) おいでください

★今年の運営当番は卒業年が4と5と6のつく学年(昭和34、35、36、44、45、46、54、55、56、平成4、5、6、14、15、16、24、25、26、29)です。詳しくは別紙を参照の上、お申し込みいただきますようご案内いたします。また、左記アドレスからもお申し込みいただけますのでご利用ください。

★クラス会をされた方は事務局までご一報ください。  
★九里祭で展示する同窓生の作品を募集しています。

